

地区とのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和7年10月31日（金）午後6時～午後7時
地 区	妙見坂地区
場 所	妙見坂自治会館
参加人数	26人

テーマ1「パナソニック団地後の開発にかかる諸課題について」

主 旨（区長）

- パナソニック団地は来年3月に閉鎖され、今後、開発される予定となっている。本日（10/31）が土地売却の入札締切日であり、11月中には事業者から開発計画が示される見込みである。
- 共済会に対して、地域からの意見として「①中央公園に代わる地域交流広場の整備」、「②地域の駐車場の確保」、「③地域活動のための資材倉庫の整備」の3点を盛り込んだ計画を策定することを条件に、事業者を選定するよう要望している。
- 開発にあたっては市の開発指導要綱等も関係してくるので、今後の開発協議に向けて、地域と市で方向性等を共有したい。

市 長

- 前提として、開発許可権者は大阪府であり、市開発調整課は申請書類の経由事務を行っている。その際に、開発調整課から事業者に対して地域要望を反映するよう促すことは可能である。
- 中央公園に代わる広場整備については、既存の公園や広場を拡張するような形で、大きな公園を整備する方式が良いのではないかと考えている。
- 認可地縁団体の会館駐車場であれば、課税の減免対象とみなすことができるが、マンション等の駐車場を地域で使用する場合は、課税の減免対象とすることは困難である。
- 倉庫整備では、広い公園が整備されればその敷地内に倉庫を設置してもらい、地域で利用することも可能である。また、防災目的の倉庫として整備する場合は、市の補助金を支出できる可能性もあると考えている。
- いずれにしても、まだ計画も示されておらず、具体的なことは今後の開発協議の中で明らかになっていくものと考えている。開発完了後に、もし地域住民の希望に沿わないことがあれば、市としても何らかの対策を検討する。

意 見

- 市の開発指導要綱に基づく行政指導は、事業者に対してどれほど強制力があるのか。
→ [市長] 開発指導要綱は条例ではないので、強制力はない。市の経由事務で、法律や指導要綱等に抵触する場合は府に開発許可申請を提出しないこともできるが、適正な申請であれば府へ提出しなければならない。市としても事業者が地域の要望を聞くように促していきたい。
- 売主である共済会が「地域の要望を聞くこと」を要件に入れているので、開発指導要綱に強制力が

ないとしても、地域の要望を入れてもらえるよう区としても働きかけていきたい。事前に集めた要望の中には、事業者と地域との協議で決定すべき内容も多く含まれているので、地域内の開発協議を進めていきたい。

- 事業者との協議書に区長印を求められるが、押印が無くても書類の効力には影響がないと聞いた。区長印のない書類が市に提出された場合も受理されるのか。
→ [市長] 今回は、地域の意見を聞くことが条件になっているので、押印のない書類が出てきた場合は、事業者に区長印をもらってきてもらうように伝える。
- 地域に住民も増え、狭い道路を無理に通ろうとする車もある。市として道路を拡幅するような計画はないか。
→ [市長] この地域は全体的に歩道も狭く、車道を拡幅する余地がないため、既存道路の拡幅は難しい。ただ、道路拡幅に使える用地があるのなら、そこは改善できると考えているため、場所を市に伝えてもらえれば、地域からの要望として対応する。
- 開発にあたり、事業者がU字溝にグレーチングを入れる方法で進める場合、市道部分も同様の対応をしてくれるか。
→ [市長] 開発協議の中で検討していくよう、都市まちづくり部に伝える。

テーマ2「公共交通(おりひめバス)について」

主旨(区長)

- 今年3月からおりひめバスが走っているが、バス停に行くのさえ大変との声もあり、今後深刻な問題になっていくと思われる。一昨年のタウンミーティングでオンデマンド交通の導入などの提案も出ていたが、自宅まで迎えに来てくれるような仕組みがあると良いと考えている。市の今後の見通しをお聞きしたい。

市長

- 現在、おりひめバスの大型バスには平均10~15人が乗車しており、ワゴン車等を利用したオンデマンド交通では乗り切れない人が出てくる可能性があるため、現時点では定時・定路線の運用しかないと考えている。
- おりひめバスは複数路線で運行しており、全体の経費が2億円程度であるのに対し、運賃収入は通年で5,000万円前後となっている。国からの補助金は今年度1,000万円ほど交付される見込みだが、来年度は1億円程度の交付を受けられないか調整中である。現在の市の財政状況を鑑み、同様の収支状況であれば今後も継続しておりひめバスを走らせることが可能と考えている。
- 今後、星田南病院前に新たにバス停を作る予定である。また、運行本数について、交野市駅方面行のバスは現状でも遅延することがあり、変更することは難しいが、星田方面行のバスは、1時間に1本から45分に1本に増便することも可能と聞いているので、来年度以降、路線の改善に取り組み、利用者数を増やしていきたい。

意見

- 交野市駅を通る路線について、フレンドタウンに行かずに河内磐船駅に停まっている。フレンドタウンを経由する経路に変更できないか。
→ [市長] 河内磐船駅に停車しなければ、ゆうゆうセンターにも行けず、外出支援にならないという意見を聞いており、フレンドタウンと比較検討した結果、河内磐船駅を通るルートとした。時間帯によって行き先を変える方法もあるが、混乱のもとになるため、好ましくないと考えている。来年の春頃には、交野市駅近くのじゃんぼスクエア交野にMEGAドン・キホーテが入るので、買い物や外食の際は、そちらでの代替も検討してほしい。

テーマ3「道路整備及び自治会館の維持補修について」

主旨（区長）

- 毎年、市に提出している来年度予算の確保のための要望に記載した以下3点をタウンミーティングのテーマとした。
 - ① 地域内の市道（妙見坂12号線・14号線）について、幅が狭いので整備してほしい。
 - ② カジタ薬局から大通りの生垣の枝剪定を継続して実施してほしい。
 - ③ 自治会館の維持補修にあたり、毎年、地域施設整備補助金の申請を行っているため、次年度予算の確保をお願いしたい。

市長

- 妙見坂12号線・14号線は、勾配がきつく、幅員が狭いことは認識しており、今後の開発にも密接に関係してくるところなので、協議や指導の中で適切に助言等をしていきたい。
- 星田私市線の街路樹の剪定を実施することは決定しているので、順次対応していく。
- 地域施設整備補助金は予算確保している。各地域で30～40%の補助率になるように調整しており、市としても会館の長寿命化を支援したいと考えている。また、地域の防犯灯に係る電気料金の95%程度も市で負担している。
- 開発等のタイミングに合わせて、新たに会館を建ててもらうことを条件にするなどの方法もあるので、検討してほしい。
- 会館の在り方については、地域と柔軟に話し合っていきたいと思っている。財政状況の都合もあるが、住民の意見を最大限に取り入れたいと考えている。

意見

- 市道は傾斜がきついため見通しが悪く、すれ違う際に車のタイヤが脱輪することが多い。団地がなくなって更地になるのなら、山型の道路を平らにすることもできるのではないかと考えているが、開発と併せて市が道路工事をする可能性はあるか。
→ [市長] 事業者が土地をフラットにする計画を立てているなら、併せて道路を平らにすることは可能と思われる。現在の道路状況は、今の住民にとっても、これから住む人にとっても良くないと思っているので、開発指導の中でも話をしていきたい。

- 今後開発する宅地については、袋小路にしないで通り抜けできるように、市からも指導してほしいと思っている。また、市と事業者の開発協議の場に、地域が参加することは可能か。
 - [市長] 一般的に、開発事業者は、通り抜けできる道路・迂回する道路・行き止まりの道路、それぞれの図面を作成し、土地の形状を総合的に判断して、道路の引き方を決定する。今回もそのような方法で進められると思うが、市としても地域の意向を事業者伝えていく。また、開発協議の場に地域が同席するのは難しいが、市が把握している地域の声はダイレクトに事業者に伝わるようにしたい。

- 会館の駐車場を離れた場所に設置した場合、減免対象の可否は市長がするのか。
 - [市長] 市で法律に基づいて判断する。なお、この件について弁護士に相談したところ、減免の対象とすることは難しいのではないかと回答を得ている。

その他

主旨（区長）

- 今回は3回目のタウンミーティングだが、ここでの議論がどこまで実現されるのかという意見もある。昨年度のフリースペース拡充やボール遊び広場の整備の話も、あまり進捗が見えてこない。

市長

- 天の川沿いのボール遊び広場はまもなく建設工事が始まる予定であり、学校のフリースペースは全小学校で週5回分の開放ができるよう予算を計上している。（人手不足が問題になっているが、改善はしていると考えている。）
- タウンミーティングは議事概要を公開し、関係部署にも共有している。時間を要することもあるが、少しずつ進めている。

意見

- 平日に校区外へ行ってはいけないと小学校で指導されているため、丸太公園にボール遊び広場ができて、妙見坂の子どもたちは平日には使えない。ボール遊びができる広場を地区ごとにつくらないと解決できないと考えている。
 - [市長] 南星台地区の1000㎡を超える広場について、今後、地区と整備方針を協議していく予定である。そこで地区の了承も得ることができれば、妙見坂小学校区内にボール遊びのできる広場が整備されることになる。理想は全小学校区に整備することだが、土地形状の問題もあり難しい。全ての小学校区で整備ができるまでは、学校のフリースペース等を代替として活用していきたい。